

平成28年度

一般財団法人むなかた地域農業活性化機構事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

一般財団法人 むなかた地域農業活性化機構

I. 全体総括

当初計画した事業については、各事業とも概ね計画どおりの実績となった。

担い手経営改善事業について、両市からの委託業務である認定農業者協議会事務局事務は、概ね計画どおり実施した。雇用システム実証事業については、イチゴパッケージング事業研修者を中心としたパッケージセンターを稼働した。また、作業・安全対策に関してのマニュアルを作成し、農作業ヘルパー派遣の際の事業の効率化を図った。

後継者育成支援事業については、むなかた地域独自の農業研修で、2期生・3期生の就農に一定の目途をつけることができた。しかしながら、将来にわたって研修生の確保が課題となっていることから、平日に就農相談に来訪できない方のため休日就農相談会を実施した。

域内流通振興支援事業については、宗像産の米粉の知名度向上と消費拡大を図るため、「米粉を知ろう！ツアー」を行い、お菓子作りや米粉パンの試食、ほ場見学を実施した。また、特産品開発支援においては、むなかた米の地魚リゾットと、福津産カリフラワーのピクルスの開発支援を行い、域内農産物の新たな魅力発見に努めた。

農地集積事業については、農地中間管理事業を各種総会、集落等の集会において事業の説明を行うなど周知を図った。また、円滑化事業についても一定の成果を上げることができた。

また、むなかた「食と農」地域フォーラムを開催し、「聞いて見て食べてみよう！！宗像・福津の野菜たち」を演題に「地産地消」をテーマとした基調講演や、地元野菜を使ったランチを提供し、地域の農業と消費者の結びつきを深めた。

II. 事業活動の概要

1. 担い手経営改善事業

(1) 宗像市認定農業者協議会事務局事務

①福津市認定農業者協議会との合同研修会として、気象予報士の岸真弓氏を招き「農業と気象 ～天気予報の盲点を見抜け～」と題した講演会を実施した。

(9/2 会員27人)

②集落営農組織連絡協議会と合同で、ジョイフル講座講師の末永郁代氏を招いて「～健康寿命を延ばす～ 家族も健康で楽しい毎日」についての研修会を実施した。

(9/27 会員30人)

③枝豆狩り交流会を開催し、認定農業者と一般参加者との交流を図った。

(10/8 会員30人、一般参加者500人)

④福津市認定農業者協議会との合同による視察研修を実施した。

(10/18～19 会員14人)

視察先：九州沖縄農業研究センター 「太陽光利用施設や完全人工光型施設の見学及び新品種、注目されている栽培技術、管理技術などについて」(久留米市)
(株)江口農園 「NPO法人設立による、障がい者や地元者雇用の取り組み及び首都圏レストラン等への販路拡大のための営業活動並びにパクチー栽培の取り組み」について(佐賀県武雄市)

- ⑤農業関係機関（宗像市、宗像市農業委員会、JAむなかた、北筑前普及指導センター）との意見交換会を実施した。（2/28 会員27人）
- ⑥その他、福岡県認定農業者組織連絡協議会総会、福岡県農林水産部長との意見交換会、福岡県認定農業者トップセミナーへ参加した。

（2）福津市認定農業者協議会事務局事務

- ①「ふるさと先生事業」として、福間南小学校（2年生）のイモ苗植付け、収穫の指導を行った。（植付け 6/7 会員6人、収穫 11/7 会員5人）
- ②宗像市認定農業者協議会との合同研修会として、気象予報士の岸真弓氏を招き「農業と気象 ～天気予報の盲点を見抜け～」と題した講演会を実施した。（9/2 会員21人）
- ③宗像市認定農業者協議会との合同視察研修を実施した。（10/18～19 会員17人）

視察先：九州沖縄農業研究センター「太陽光利用施設や完全人工光型施設の見学及び新品種、注目されている栽培技術、管理技術などについて」（久留米市）
 （株）江口農園 「NPO法人設立による、障がい者や地元者雇用の取り組み及び首都圏レストラン等への販路拡大のための営業活動並びにパクチー栽培の取り組み」について（佐賀県武雄市）

- ④福津市認定農業者協議会単独での視察研修を実施した。（2/3 会員17人）

視察先：長崎県諫早市

八江農芸株式会社（トルコギキョウ、ニラ、そら豆、チンゲン菜等のほ場見学）、諫早干拓地視察

- ⑤17回目となるみかん狩り交流会を開催し、地元農産物のPRや認定農業者と一般参加者との交流を図った。（11/3 会員18人、一般参加者約1,200人）
- ⑥収穫体験ツアーを実施し、地元農産物の認知度向上と、消費者の交流を図った。（4/23 会員2人、一般参加者9人、11/13 会員2人、一般参加者13人）
- ⑦ふくつほほえみグループの視察研修、研修交流会、みかん狩り交流会時の出店等の活動支援を行った。

- | | |
|-----------------|---|
| （8/19 視察研修 | ほほえみグループ参加者16人
福岡大同青果 ベジフルスタジアム（福岡市東区）
直売所 ぶどう畑（福岡市南区） |
| 2/9 研修交流会 | ほほえみグループ参加者17人
講義 「日本人の心を継承してきた葬送文化」
内容 葬儀マナー、相続、終活について
講師 JAむなかた野ぎく会館館長 中村 将弘氏
岩崎 加寿美氏 |
| 11/3 みかん狩り交流会出店 | ほほえみグループ参加者10人
豚汁・焼き芋・フランクフルトなど |

⑧その他、福岡県認定農業者組織連絡協議会総会、理事会、福岡県農林水産部長との意見交換会、トップセミナーへ参加した。

(3) 認定農業者フォローアップアンケート

農業経営改善計画の中間年（3年目）にあたる認定農業者を対象に、計画の達成状況に関するアンケート調査を実施した。

（3月調査 宗像市25経営体、福津市23経営体）

(4) 宗像地区集落営農組織連絡協議会事務局事務

①社会保険労務士の中村雅和氏を招いて「農作業中の事故と労災保険について」と題した研修会を実施した。（8/23 会員17人）

②宗像市認定農業者協議会と合同で、ジョイフル講座講師の末永郁代氏を招いて「～健康寿命を延ばす～ 家族も健康で楽しい毎日」についての研修会を実施した。

（9/27 会員10人）

③視察研修会を実施し、「米・麦・大豆の安定生産に係る農薬の効果的・効率的な使用方法等について」及び「麦大豆の安定生産対策に係る排水対策・連作障害対策・適期播種・雑草対策等について」の取組等を視察した。（1/27～28 会員12人）

視察先：宇都宮化成工業株式会社（佐賀県鳥栖市）

佐賀県農業試験研究センター（佐賀県佐賀市）

(5) 農業法人化の支援

農業の法人化を希望する相談者に対して、土業紹介等の支援を行った。

(6) 雇用システム実証事業

福岡県園芸農業等総合事業費補助金を活用して、農家間の労働力融通の円滑化や外部からの労働力の確保を図るため、雇用調整システムの構築、運用に取り組んだ。

①農家及び関係機関等による雇用システム実証会議を開催し、雇用調整システム運用の検討や新たな取組の検討を行った。

（7/29、12/5、3/28）

②前年度の農作業ヘルパー登録者に継続登録依頼を郵送するとともに、ホームページや有料広告等を活用することにより名簿登録者を確保した。（登録者合計136人）

③JAむなかたイチゴ部会員を対象に、三潁郡大木町の雇用型農家の大藪進氏を招き、研修会を実施した。

（1/24部会員約50人参加）

④雇用農家及びこれから雇用を検討している農家を対象に、社会保険労務士の中村雅和氏を招き、「農作業中の万が一の事故やケガに備えて」をテーマとした雇用管理研修会を実施した。

（2/7参加者8人）

⑤JAむなかた無料職業紹介所との連携により、農作業ヘルパーの紹介を行った。

（ヘルパー延べ266人、90経営体）

⑥農作業ヘルパーを活用する雇用農家（園芸関係部会員）を対象にヘルパーに関するアンケート調査を実施した。

（回答者115人）

併せて、農作業ヘルパー84人に郵送で被雇用者を対象としたアンケートを郵送で実施した。

（回答者69人）

⑦JAむなかたと共同で平成27年度のイチゴパッケージング事業研修者を中心とした14人の作業員によりパッケージセンターを稼働した。

（イチゴ農家7経営体）

⑧各作物に対応した作業マニュアル及び安全対策に関するマニュアルを作成し、事業の効率化を図った。

（7）農業体験農園支援

農業体験農園「ダンディ幸一農園（大井）」「瀧産の体験農園元気村（名残）」の運営支援を行った。また、新規農園立ち上げ相談対応を行った。

①「ダンディ幸一農園」平成28年度利用区画数19区画

②「瀧産の体験農園元気村」平成28年度利用区画数23区画

（8）堆肥ペレット活用実証事業

大豆生産農家の収量回復に向けた継続的な取組支援として、北筑前普及指導センターと連携し、ペレット堆肥を活用して地力向上の取組みを行った。

（散布地区4地区、散布者6経営体、散布量38,850kg、散布面積55,790㎡）
また、土壌分析の結果、実証ほ場の腐食値の理想値への改善が見られた。

（全29筆中12筆）

（9）根こぶ病防除対策支援

①根こぶ病防除対策協議会へ出席し、関係機関との調整・支援を行った。

②堆肥のほ場への試験散布および検証のための支援を行った。

（試験ほ場3か所）

2. 後継者育成支援事業

（1）新規就農者育成支援

①新規就農を希望する方への相談対応、また、統一様式の相談カードを活用して、関係機関との情報共有と相談者へのアドバイス等の支援を行った。（相談カード15人）

②福岡県主催の「ふくおか農林漁業就業セミナー・相談会」に個別相談ブースを設置し、相談対応を実施した。

（8/21 相談者12人、1/7 相談者5人）

③平日に就農相談に来訪できない方のニーズに応えるため、休日就農相談会を実施した。

（3/25相談者1人）

- ④正助ふるさと村において、域内の就農者育成を目的とした、むなかた地域独自の農業研修を引き続き実施した。
- （2期生1人、3期生2人、4期生1人）
- 2期生…7月に独立就農し、3月から雇用型に変更し就農した。
- 3期生…研修後の就農に向けた支援やアドバイスをし、就農地の確保など就農実現に一定の目途をつけることができた。
- 4期生…2年目の研修で、選定した経営作物の専門農家での研修を行うこととなった。
- ⑤上記の研修事業において、先進地視察研修を実施した。
- 9/2（参加者3人）
- ・（有）雲仙森の野菜村（長崎県南島原市）
 - ・（有）田中農園（長崎県島原市）
- 3/23（参加者1人）
- ・福岡大同青果 ベジフルスタジアム（福岡市東区）
 - ・太郎グループ 生産者 江藤氏（三井郡大刀洗町）
 - ・全国農業協同組合連合会福岡県本部種苗センター（三井郡大刀洗町）
- ⑥宗像市及び福津市の「人・農地プラン」及び「青年就農給付金」に関する取組について、関係者協議、対象者ヒアリング、集落説明会、個別相談対応等を行った。

（2）若手女性農業者育成支援

若手女性農業者によるグループ（菜の花会）が主催する研修交流会において、6次産業化を目指す方のため、工場・直売所の視察や、漁協女性部で活動する団体との情報交換や交流会に関して支援した。

- （7/4 視察研修 菜の花会参加者13人
やまや本社工場（福岡市東区）
古賀工業団地内直売所（古賀市）
- 2/21 研修交流会 菜の花会参加者13人
宗像漁協女性部との情報交換（宗像市田久 DICE）

（3）青年農業者育成支援

- ①北筑前アグリネット（事務局：北筑前普及指導センター）に対して、活動助成金を交付した。
- ②宗像地区青年農業者会（事務局：北筑前普及指導センター）に対して、助成金を交付した。

3. 生産流通振興支援事業

(1) 直売所振興支援

①宗像地区直販施設連絡協議会（事務局：北筑前普及指導センター）の事業研修会、イベント開催の支援を行った。

（8／26 安全・安心農林水産物制度研修会 参加者152人

10／1～11／30 ★ふくつ&むなかた★直売所へ行こう！2016

応募総数281通、有効応募数189通）

②むなかた「食と農」地域フォーラムにおいて、宗像育ちシリーズのリーフレットを配布し、宣伝活動を実施した。

③福津市役所津屋崎庁舎および東福間、宮司の各地区においてあんずの里市の出張販売の支援を行った。

(2) 域内流通振興支援

①福岡県主催のふくおか農林体験ツアーの支援を行い、花卉の収穫体験やフラワーアレンジメントの体験等を実施した。

（6／5 参加者20人）

②「米粉を知ろう！ツアー」として、米粉を使ったお菓子作りや、米粉パンの試食、ほ場の見学を実施した。

（10／26 参加者21人）

③「むなかた産大豆巡り」として、地元産大豆を使うテンペ加工場や、大豆ほ場の見学、味噌づくり体験を実施した。

（11／11 参加者20人）

④福津市地域振興課と連携し、トマトの収穫体験やトマト生産者の講話などの事業を行った。

（6／26 参加者7人）

(3) 特産品開発

農業者、また団体等に対して、国、県等が行う各種研修会、セミナー等の開催の案内や、商品開発を検討する農業者へ情報提供を行った。

①特産品開発支援事業として、助成金の交付及び新商品開発の支援を行い、域内農産物の新たな魅力の発見に努めた。

（応募3件、助成2件（宗像米の地魚リゾット、福津産カリフラワーのピクルス））

②福津市産あんずのブランド化を図るため、地権者との交渉など遊休農地にあんず苗木の植樹を行う団体を支援した。

③域内農産物のブランド化を図るため、地理的表示制度についての研鑽を深めた。

4. 農地集積事業

(1) 農地中間管理事業受託業務

福岡県農業振興推進機構から、農地中間管理事業に係る業務の一部を受託し、事業の周知や受付業務を実施した。

①農地中間管理事業を周知するため、両市認定農業者協議会総会や宗像地区集落営農組織連絡協議会総会、集落等の集会などで事業の説明を行った。また、JAむなかた広報誌『べじたぶる』（5月・7月・10月号）にあわせてチラシの配布を行い事業の周知を図った。

②受け手となる耕作者へ募集に応じるよう呼びかけ、申出書の受付を行った。

第1回（5/1～5/31）の公募件数 宗像市10件 福津市3件

第2回（10/17～11/16）の公募件数 宗像市1件 福津市4件

③出し手となる所有者からの申出書の受付及び福岡県農業振興推進機構との契約手続きを行った。

11/16までの申出・契約予定件数 宗像市2件 15,117㎡、福津市4件 29,494㎡

累計22件 180,996㎡（宗像市12件 109,338㎡、福津市10件 71,658㎡）

(2) 農地利用集積円滑化事業（農地所有者代理事業）

28年度委任契約の締結数（H29.3月末現在）

契約件数58件、契約面積140,543㎡

【28年度委任契約実績】

市名		委任（所有者）件数	委任面積
宗像市	28年度	50件	117,137㎡
	（累計）	（251件）	（850,204㎡）
福津市	28年度	8件	23,406㎡
	（累計）	（75件）	（246,346㎡）
計	28年度	58件	140,543㎡
	（累計）	（323件） ※3件が両市で重複	（1,096,550㎡）

5. その他の事業

(1) むなかた「食と農」地域フォーラム

JAむなかたとの共催で、地域の農業と消費者との結びつきを深めるため「地産地消」をテーマとしたフォーラムを開催した。

（3/12 参加者233人（チケット200、講師1、来賓10、スタッフ22）

会場 玄海ロイヤルホテル

講演 古川 年巳氏 「おふくろの味で心は育つ」

ランチタイム 地元野菜を使ったランチメニュー（古川氏考案）

(2) 広報紙発行

「むなかたアグリ・レター」第7号を発行し、JAむなかた広報誌「べじたぶる」1月号とあわせて配布した。(約6,000部)

(3) ホームページ運用

ホームページを活用し、イベント案内等の情報を掲載した。(更新回数28回)

(4) 第38回農業功労賞表彰

JAむなかた農業まつりにおいて、第38回農業功労者表彰を実施し、個人の部で立石秀則氏(宗像市)、福島光志氏(宗像市)、安部信二氏(福津市)、団体の部で津屋崎地区麦作部会(福津市)をそれぞれ表彰した。(11/19)

Ⅲ. 業務管理の概要

1. 理事会 開催3回

(1) 平成28年5月18日開催

場所：JAむなかたグリーンセンター本店前会議室

第1号議案

平成27年度事業報告・決算の承認について
原案のとおり承認可決。

第2号議案

新役員(案)の承認について
原案のとおり承認可決。

第3号議案

理事の再任(案)の承認について
原案のとおり承認可決。

第4号議案

代表理事及び業務執行理事の承認について
原案のとおり承認可決。

(2) 平成28年11月24日開催

場所：JAむなかた本店201会議室

報告事項

平成28年度上半期(4月～9月)事業取り組み状況について

(3) 平成29年2月16日開催

場所：JAむなかた本店201会議室

第1号議案

平成29年度事業計画(案)・予算(案)について
原案のとおり承認可決。

2. 評議員会 開催3回

(1) 平成28年5月26日開催

場所：JAむなかた本店101会議室

第1号議案

平成27年度事業報告・決算の承認について
原案のとおり承認可決。

第2号議案

新役員(案)の承認について
原案のとおり承認可決。

第3号議案

理事(案)の再任の承認について
原案のとおり承認可決。

(2) 平成29年3月3日(書面による議決)

第1号議案

平成29年度事業計画(案)・予算(案)の承認について
原案のとおり承認可決。

(3) 平成29年3月5日(書面による議決)

第1号議案

評議員の選任について
原案のとおり承認可決。

3. 登記

平成28年3月31日 理事変更登記

辞任 (理事) 三好康之、篠原万人、古川浩二

平成28年3月31日 監事変更登記

辞任 (監事) 中野和久

平成28年5月26日 理事変更登記

就任 (理事) 中野和久、中村慈宏、本多研介

平成28年5月26日 監事変更登記

就任 (監事) 福崎常喜

平成28年5月26日 理事重任登記

重任 (理事) 小田達也、久芳昭文、小島信昭、白木健治、永島脩助、中村徹也

平成28年5月26日 代表理事重任登記

重任 (代表理事) 小田達也

4. 在勤者数 (平成29年3月31日現在)

事務局長 (業務執行理事)	1人
事務長 (嘱託職員)	1人
事務局員 (宗像市から派遣)	1人
事務局員 (福津市から派遣)	1人
事務局員 (JAむなかたから出向)	1人
事務局員 (正規職員)	1人
事務局員 (臨時職員)	2人
計	8人